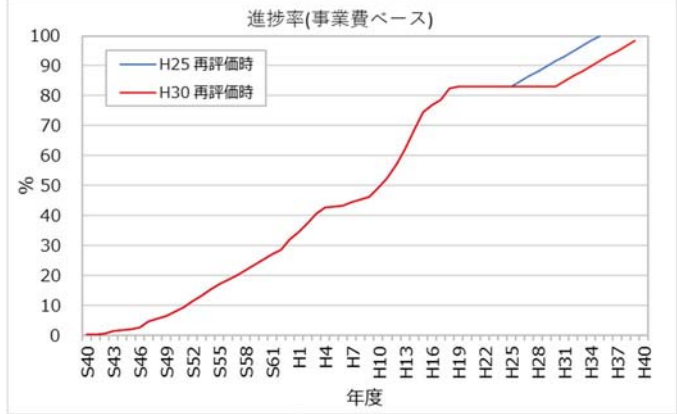


平成30年度再評価対象事業
(対象：平成25年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

| 番号 | 項目 | 事業名 (路・河川名等) | 事業目的 | 事業概要 | 事業の進捗状況 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 費用対効果の要因の変化 | CO2削減や代替案等の可能性 | 再評価理由 | 対応方針 (事業化案) |
|--------------|-------|---|---|---|--|--|---|-----------------------------------|-----------------|---|
| 再評価時点 H25 | 再評価時点 | 牛津江川 河川整備交付金 事業(社会資本 整備総合交付 金：総合流域防 災事業) | 流路是正、狭窄部解消を行 い、治水安全度を向上し、 流域の浸水被害の軽減を 図る。 計画流量 140m ³ /s 計画治水安全度 1/50 | 全体事業費：C=61億円 工期：S40～H35 改修延長：L=5,700m 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管17基、 橋梁13基、堰8基 | 砂田橋下流部について は完成しており、上流 区間の約600mを残すの みとなっている。 上流部については用地 買収の促進を図ってい る。 国道34号江津ヶ里橋他 10橋完成 (H24末進捗率 83%) (年平均進捗率 1.7%) | (過去の災害実績) H2.7 浸水戸数 430戸 農地浸水面積 550ha (地域の状況) 上流の小城町内では、宅地化が 進んでいる。地元及び牛津江川 改修促進期成会の整備要望が 強い。 | 最新のマニュアル に基づき、費用対効 果(B/C)を算定 した。 ・(B/C)=3.5 | ・再生材の積極的 利用 ・建設副産物の有 効利用 | 再評価実施後 5年が経過 | 継続 |
| 現時点 H30 | 現時点 | 牛津江川 河川整備交付金 事業(社会資本 整備総合交付 金：総合流域防 災事業) | 流路是正、狭窄部解消を行 い、治水安全度を向上し、 流域の浸水被害の軽減を 図る。 計画流量 140m ³ /s 計画治水安全度 1/50 | 全体事業費：C=61億円 工期：S40～H40 改修延長：L=5,700m 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管17基、 橋梁13基、堰8基 | 砂田橋下流部について は完成しており、上流 区間の約600mを残すの みとなっている。 上流部については用地 買収の促進を図ってい る。 国道34号江津ヶ里橋他 10橋完成 (H29末進捗率 83%) (年平均進捗率 1.6%) | (過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 特になし | 最新のマニュアル に基づき費用対効 果(B/C)を算定 した。 ・(B/C)=5.1 | ・再生材の積極的 利用 ・建設副産物の有 効利用 | 再評価実施後 5年が経過 | 平成2年洪水被 害を軽減する ため、流路是 正、狭窄部解 消を行い、治水 安全度を向上し、 地域住民の安 心・安全を確保 するためには、 当事業の継続 が必要である。 |
| 理由等 | 理由等 | | | 他河川への集中投資に 伴い、事業進捗を抑えて いたことによる工期延 長。 |  | <p>前回再評価時と比 較し、家屋評価単価 の増加によりBが増 大し、費用対効果 (B/C)の増となっ た。</p> | | | | |